

# 3つの基本方針と9つの基本施策

【施策の体系】



基本施策

基本方針 1

「そもそもごみを出さない」

- 1 すぐにごみになるものを買わない・つくりません
- 2 事業所などから出るごみを減らす
- 3 分かりやすい情報提供と環境学習機会の拡大

基本施策

- 1 徹底的な分別によるリサイクルの推進
- 2 地域力を活かした地域密着型の取組の推進
- 3 「学生のまち、観光のまち」ならではの取組の推進

基本方針 2

「ごみは資源、可能な限りリサイクル」

市民、事業者、行政が連携して取組を推進

基本方針 3

「ごみは安全に処理して最大限活用」

基本施策

- 1 ごみからのエネルギー回収の最大化
- 2 環境負荷を低減するごみの適正処理
- 3 市民の安心・安全とまちの美化の推進

# 基本施策を推進するための5つの重点施策

- 京都市の現状からみた主要課題に対応するための重点施策を実施
- 重点施策に関連する複数の施策を融合するかたちで取組を推進

## 基本施策を推進するための5つの重点戦略

3つの基本方針による9つの基本施策

基本方針1  
「そもそもごみを出さない」

基本方針2  
「ごみは資源、可能な限りリサイクル」

基本方針3  
「ごみは安全に処理して最大限活用」

1 包装削減推進京都モデル

2 事業ごみの減量対策

3 イベント等のエコ化の推進

4 多様な資源ごみの回収の仕組みづくり

5 バイオマスの利活用

# ECOまちステーションの開設(2010.4)

市民に身近な区役所に、環境行政の最前線の拠点として設置し、ごみに関する相談や各種普及啓発を行う(11区役所+3支所)

## 〈主な役割〉

- ▶ごみ減量相談, 使用済み天ぷら油, コミュニティ回収, 資源デポ等の拠点拡大
- ▶地域ごみ減量推進会議支援, ECOバスツアーの実施, イベント等での普及啓発
- ▶まちの美化住民協定, 環境家計簿やエコドライブの推進, 環境学習プログラム実施

## 〈資源の回収〉

乾電池, 紙パック, 蛍光灯, リユースびん, 小型家電, 小型二次電池, ボタン電池, 使い捨てライター, 水銀体温計, 記憶媒体類

## 〈相談件数〉 平成22年度:53,604件

| 相談項目 | ごみの出し方 | コミュニティ回収制度 | 資源回収等の相談, 助成 | ごみ減量推進会議取組支援 | 美化活動不法投棄相談 | 施設見学環境学習 | 各種申請カラスネットなど | その他環境家計簿等 |
|------|--------|------------|--------------|--------------|------------|----------|--------------|-----------|
| 来庁   | 15,369 | 1,833      | 2,320        | 388          | 3,425      | 564      | 6,066        | 7,013     |
| 電話   | 6,641  | 1,249      | 1,385        | 429          | 1,379      | 386      | 1,782        | 3,375     |
| 合計   | 22,010 | 3,082      | 3,705        | 817          | 4,804      | 950      | 7,838        | 10,388    |

# 事業ごみの減量対策

- 事業ごみの透明袋制の導入 (2010.6)

(2010.6)

- 業者収集マンシヨンの届出制度の創設

- ・分別義務化(2010.4)
- ・透明袋制の導入 (2010.6)



事業者



受入ごみの  
チェック



市クリーンセンター



透明袋以外

一般廃棄物  
収集運搬業  
許可業者

民間資源化施設



資源ごみ



- 告示産廃(木くず, 石膏ボード等)の搬入禁止 (2009.10)

- クリーンセンター搬入チェックの強化

- クリーンセンター古紙等の資源拠点設置検討

- 減量計画書提出の対象範囲拡大 (2011.4)

- ・大規模事業所新築時(出店前)
- ・特定食品関連事業者(フランチャイズチェーン等)

# イベントのグリーン化

## 「エコイベント要綱」の策定(2010. 10)

### 対象イベント

「地蔵盆から祇園祭まで」を対象に。



地蔵盆や保育園、  
幼稚園の夏まつり

文化祭・学園祭・  
京都学生祭典

民間イベント

学区や商店街の  
夏まつり

京都市主催・  
共催イベント

伝統行事  
(葵祭, 時代祭,  
祇園祭など)



### 5つのポイント

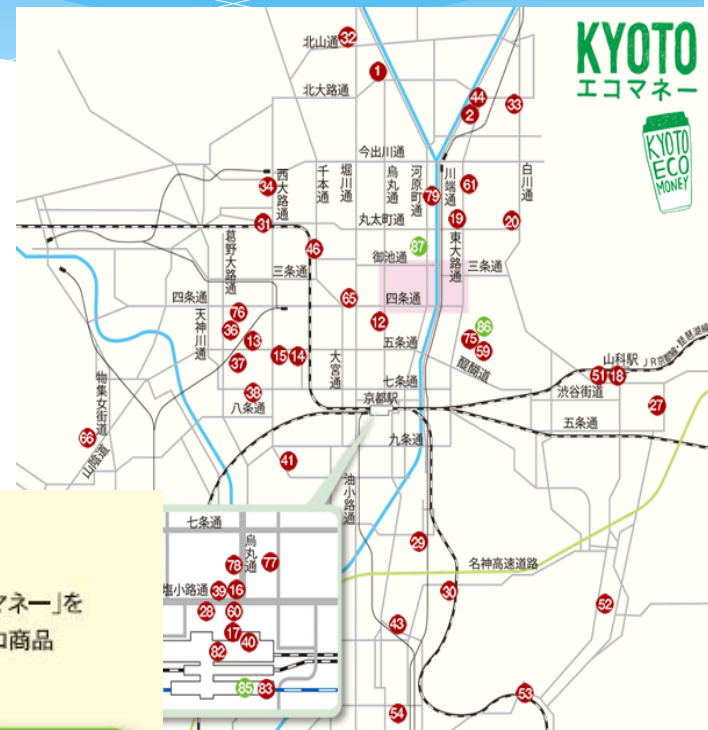
イベントの主催者が取り組むべき内容を  
「5つのポイント」として分類

- ① ごみの発生抑制・リサイクルの推進
- ② 省エネルギー・省資源の推進
- ③ グリーン購入の推進
- ④ 交通手段における環境への配慮
- ⑤ 参加者の環境意識の醸成

### エコイベントの実現に向けた支援策

- ① エコまちステーションへの相談窓口設置,  
アドバイザー派遣
- ② リユース食器導入経費の支援  
導入費用の1/2を助成, 上限10万円
- ③ 「京都市認定エコイベント」の登録  
5つのポイント満たすイベント
- ④ エコイベント表彰, エコイベントコンテストの  
実施

# 京都エコマネーの取組(2011. 8～)



## KYOTO エコマネー

### って、どういうもの？

裏面の「参加店舗」にて、マイボトルで商品を購入いただくと、「KYOTOエコマネー」を1ポイント取得できます。エコマネーが10ポイント貯まると、500円相当のエコ商品（京の旬野菜、トラフィカ京カード）と交換できます。



マイボトルを使って  
スタンプをGET!



10ポイント貯める  
(10ポイント=500円分)



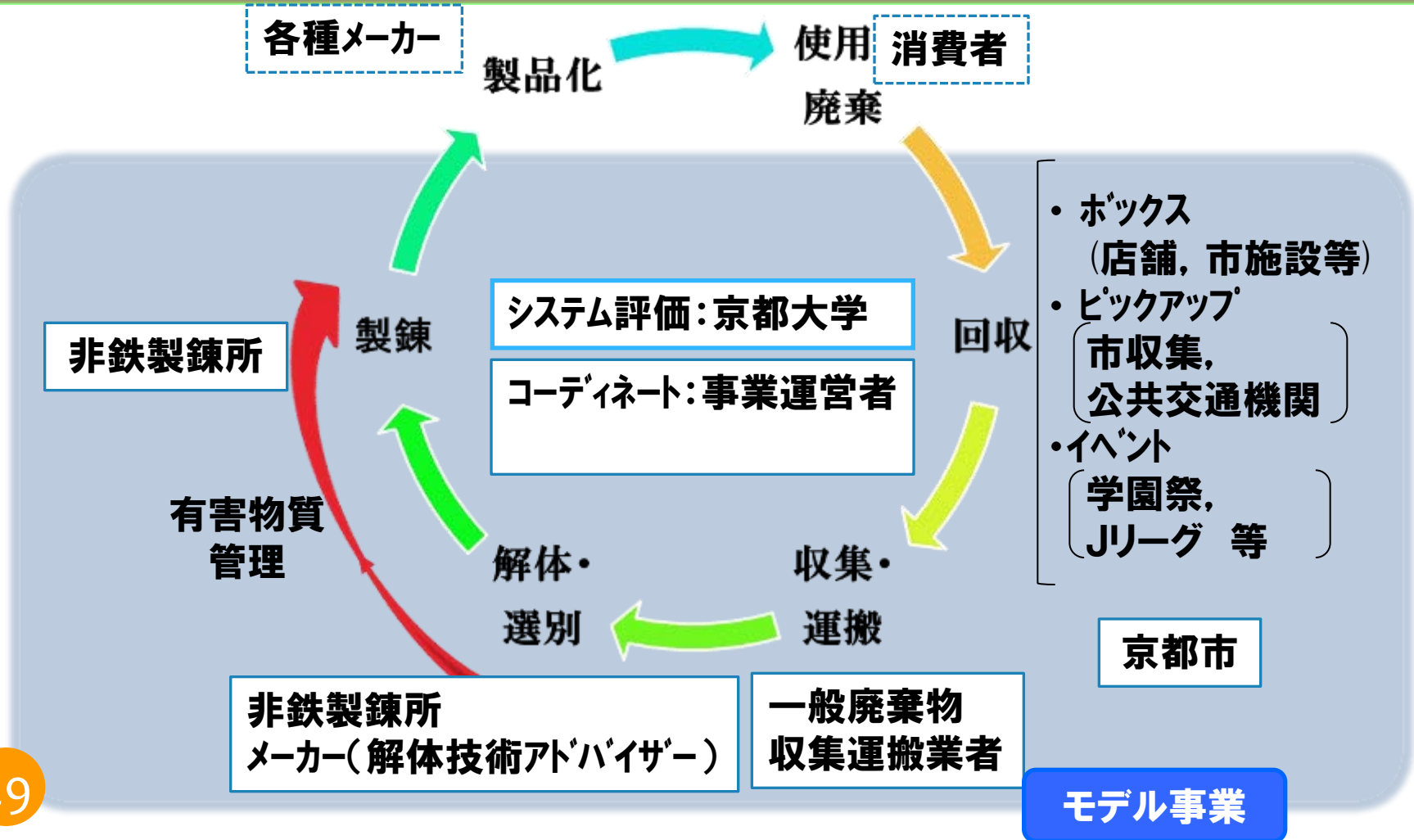
京野菜または  
トラフィカ京カードと交換

エコマネーをもらえるお店



# 小型家電レアメタルリサイクル(2009. 11～)

○小型家電の回収から、レアメタルの回収・利用に係る関係事業者、学識経験者、行政の連携の下、回収及び各種検討を実施



# 小型家電回収量（2009年11月～2011年6月まで）

●総数：7,621個



●回収個数：6,776個

## 上位3品目

1. 携帯電話(4,941個)

2. ポータブル音楽プレーヤー(1,073個)

3. 家庭用ゲーム機カセット(1,054個)



京都サンガF.C.  
ホームゲーム  
試合会場



市役所前フリーマ



家電販売店



# 京都市における多様な資源回収の仕組みづくり






## ●分別収集

| 缶・びん・ペット   | プラスチック製容器包装   | 小型金属  |
|--|---|---|
|  |  |  |

## ●拠点回収(区役所, まち美化事務所, 民間施設等)

| 乾電池  | 紙パック  | 蛍光管   | リユースびん  | 廃食用油  | 小型家電  |
|--|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |

## ●コミュニティ回収(市民の自主的リサイクル)

| 古紙類  | 古着・布  | 缶類  | びん類   | その他   |
|--|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |

| 古紙類*  | 古着・布*   | 刃物類*  |
|---|---|---|
|  |  |  |

\*は上京リサイクルステーションのみ。今後順次拡大

## ●拠点回収(追加) 本年6月～

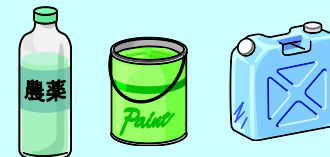
| 小型二次電池  | ボタン電池   | 使い捨てライター  | 水銀体温計   | インクカートリッジ   | 記憶媒体類   |
|---|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |  |

多様な市民のリサイクル機会を拡大

31

## 移動式資源デポのモデル事業の実施(今年度中スタート)

拠点回収の品目に加えて, 市民から捨てるのに困るとの意見のある農薬や塗料, 薬品なども地域に出向いて回収する移動式資源デポの取組を開始。2013年度から本格実施予定



# 京都市バイオマスGO！GO！プラン

## 京都市バイオマス活用推進計画（2011-2020）



# 京都市バイオマス活用推進計画 (バイオマスGO! GO! プラン)

⇒ 総合的, 計画的にバイオマスの活用を進めていく

## 1 計画の目的(目指す未来像)

- ① 環境負荷の少ない持続的社會  
ごみとして出されるバイオマスが大幅に削減され, 省エネや太陽光の取組とあわせて, 二酸化炭素を大幅に削減。また, バイオマスを多段階で利用するシステムが実現
- ② 農林業の振興をはじめとする地域の活性化  
林業の活性化や持続可能な森林の保全が進み, 自然と共生する豊かな暮らしが創出。優れた技術が開発され市域での活用が促進
- ③ バイオマス活用を軸にした新しいライフスタイルの定着  
「もったいない, しまつ」など京都流ライフスタイルが定着。バイオマス活用と環境教育等の充実が相まって, バイオマスへの理解が広がるとともに, 森林管理活動等を通じてコミュニティの活性化や安らぎなどの効用が享受

## 2 数値目標

バイオマスの利用率を現状の39% (2008) から55% (2020) に向上

## 3 重点バイオマス

「木の文化を大切にするまち京都」は木を徹底活用するとともに, 紙ごみ, 食品廃棄物, 廃食用油を重点バイオマスとして活用を推進

## 4 目標達成のための方針及び施策

計画の3つの目的(未来像)を基本方針とし, 11の基本施策のもと, 37の推進項目を実施 (詳細:<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000099835.html>)

御清聴ありがとうございました

